

Jamaica Blue Mountein

ジャマイカ・ブルーマウンテン

エメラルドグリーンのカリブ海に浮かぶ西インド諸島の中で、3番目に大きな島、ジャマイカは、かつて「アンティル諸島の女王」と呼ばれ、1494年コロンブスによって発見されました。それ以来、スペイン、イギリスの統治を受け1962年完全に独立しました。

ジャマイカとは16世紀に絶滅した原住民、アラワクインディアン言語(アラワク語)「XAYMACA」に由来し「森と水の大地」を意味します。

この美しい自然の豊かな国にコーヒーが初めて持ち込まれたのは1728年、当時のニコラス・ロウズ総督により、フランス領マルチニーク島からと言われています。昼は30度、夜は15度前後と気温差の激しいこの国の気候条件は、コーヒーの栽培に極めて適しており、生産は急速に拡大しました。また、そのコーヒー豆は、他に類を見ないほど調和が取れ、芳醇なコクと甘い香りを醸し出します。

「世界の超一級品」と称されるに相応しいコーヒーです。

ブルーマウンテンの名称で取引するコーヒーはジャマイカの「コーヒー産業法」で定めるブルーマウンテン地区で生産されます。

生産地名：ブルーマウンテン地区

気候風土：熱帯海洋性気候

栽培品種：ティピカ種

精選方法：ウォッシュド

収穫時期：8月から2月

カップの特徴：酸味・苦味・甘みのバランスが絶妙



WATARU & CO., LTD.